

1	議席番号 7 番	<b>三輪 正邦 議員</b>	開始予定時刻 12月8日 午前9時
<p><b>【吉田町住吉富士見土地区画整理組合について】</b></p> <p>吉田町住吉富士見土地区画整理組合は、平成4年に地域の地権者が土地の利便性と有効活用を掲げて設立され、地権者にも割り振りが行なわれ、平成9年から保留地の売却が始まりました。</p> <p>組合設立から24年の月日がながれ、今もって清算に至りません。利子補給として多くの税金が投入されております。これをいつまでも放置できないと思います。以下について質問します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 現在利子補給がなされております。いつまで続くのでしょうか。</li> <li>2 組合の財政状況を把握されておりますか。</li> <li>3 利益や負担が生じたときの清算責務は組合ですか、行政ですか。</li> <li>4 清算に向け、抜本的な対策を考えておられますか。</li> </ol>			

2	議席番号 3 番	<b>大石 巖 議員</b>	開始予定時刻 12月8日 午前10時
<p><b>【子どもを産み育てやすい環境の整備について】</b></p> <p>今年度から国の新たな保育制度として、子ども・子育て支援制度がスタートしました。</p> <p>「吉田町人口ビジョン」では、将来人口を展望して合計特殊出生率を現在の1.73から平成32年には2.07に上昇、維持しようと計画しています。</p> <p>保護者の皆さんや保育の現場からの声を踏まえ、もっと子どもを産み育てやすい環境を整備するためにも以下の質問をします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「就学前第3子」の条件をなくし、3人目の子どもから保育料の無料化を図る考えはあるか。</li> <li>2 育児休業取得中、既に保育園を利用している子どもについては、継続利用できる考えはあるか。（育休退園の廃止）</li> <li>3 正規の保育士を増やし、職場への定着や質の高い人材の確保をめざす施策はあるか。</li> </ol>			

3	議席番号 10 番	藤田 和寿 議員	開始予定時刻 12月8日 午前11時
<p><b>【総合戦略における雇用創出について】</b></p> <p>町は、「吉田町人口ビジョン」及び「吉田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。</p> <p>人口ビジョンで「目指すべき将来の方向」と「人口の将来展望」を示し、総合戦略でその方向等を踏まえた基本目標を設定し、避けることの出来ない人口減少社会を見据えた地域づくりを進める内容となっています。</p> <p>総合戦略の基本目標のひとつである「本町における安定した雇用を創出する」具体的な施策は、現状の課題とその対策を含め、「豊かで勢いのある町」に向けた取り組みと考えています。</p> <p>そこで雇用を創出する具体的な施策とその推進の一翼を担う「吉田町まちづくり公社」について、以下町長にお伺い致します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 企業に係る内容について、現状の課題をどのように分析し、今回の具体的な施策になったのか。       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 企業誘致について。</li> <li>(2) 企業間交流の活性化について。</li> <li>(3) 企業立地支援体制の強化について。</li> </ol> </li> <li>2 創業支援体制の構築に向け、新しい取り組みが行われるがどのような内容か。       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 吉田町創業支援ネットワークについて。</li> <li>(2) 従来の創業支援策との違いは。</li> </ol> </li> <li>3 企業や商業施設誘致、そして水産業への支援充実が挙げられているが、町内の既存の商工業者への支援はどのように考えているか。       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 事業継承や後継者対策などについて。</li> <li>(2) 商工業振興事業費補助金や産業振興事業費補助金について。</li> </ol> </li> <li>4 総合戦略における吉田町まちづくり公社の役割は。       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) どのくらいの事業規模を想定しているか。</li> <li>(2) どのような産業振興策を担ってもらうのか。</li> </ol> </li> </ol>			

4	議席番号 9 番	増田 剛士 議員	開始予定時刻 12月9日 午前9時
<p><b>【新たな交通サービスの施策について】</b></p> <p>町は、津波防災まちづくりを進める中で、都市計画道路の東名川尻幹線、富士見幹線、住吉幹線、そして榛南幹線が開通し、町内環状道路となる形の道路網が出来る見込みとなっています。</p> <p>また、「にぎわいの創出」のためシーガーデンシティ構想に取り組んでいます。</p>			

その中に、交通まちづくりの観点を取り入れて頂ければ、より一層「豊かで勢いのあるまちの創造」に繋がると考えます。

2013年12月施行の交通政策基本法では、「交通政策基本計画」を具体的な施策とし、まちづくりの観点から「豊かな国民生活に資する交通の実現」「自治体中心にコンパクトシティ化等まちづくり施策と連携し、地域交通ネットワークを再構築する」とあり、「利便性、快適性、効率性を兼ね備えた新たな交通サービスを提供する。」方針が掲げられています。

そこで、当町における新たな交通サービス（システム）の考え方について質問致します。

- 1 平成26年3月に行った「まちづくりに関する住民意識調査」報告書によると、公共交通の充実に関して、満足度2.52、重要度4.26となっており、年齢別に見ても各世代で同じような結果となっているが、この結果をどのように考えているか。
- 2 「吉田町まちづくりタウンミーティング」のご意見に新たな交通システムに関するものがあり、住民の要望は高まっていると感じるが導入の構想は。
- 3 「吉田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」には、交通に関する施策が希薄であると思うがいかがか。

5	議席番号 4 番 遠藤 孝子 議員	開始予定時刻 12月9日 午前10時
<p>【わが町が目指す教育について】</p> <p>吉田町まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標の「4 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」の講ずべき施策に関する基本的方向の中に『確かな学力』を確保するため引き続き教育事業を推進すると示されています。</p> <p>そこで、次のことについてお伺いします。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 吉田町ラーニングプランの進捗状況と現在までの成果は。</li><li>2 新しい視点である公設学習塾の開設についての方法等は。</li><li>3 総合戦略の中に掲げる教育大綱『生涯にわたり学びあい高めあう人づくり』をどのように位置づけ、整合性をもたせるのか。</li><li>4 「確かな学力」の育成と心の教育のバランスの取り組みは。</li></ol>		

**【小中学校図書の充実について】**

わが吉田町の小中学校の各図書室には司書が配置されております。

これは子どもたちや保護者にとって良いことと思います。

27年の第3回定例会の決算質疑の中で伺ったことではありますが、小中学校図書購入費が26年決算額に比べ、27年予算額が減額となっております。

小中学校にある本は読書をする本と調べ学習をする本（図鑑など）があります。

調べて学習していき、知識を増やしていく、これが学力を高めていくことにつながっていくと考えます。

そこで以下のことについて伺います。

- 1 小中学校の図書室はどのように活用されていますか。
- 2 調べ学習や子どもたちの読書の要求に応えられる蔵書はどうなっていますか。
- 3 学力向上のため、学校図書室をより充実させる考えはありますか。

**【子宮頸がんワクチン副作用の把握について】**

全国的に子宮頸がんワクチンの副作用の報告があり、現在、接種が見送られています。

副作用の症状には、腕の腫れや勉強ができなくなるほどの頭痛、日中まぶしくてサングラスを使用するしゅうめい、筋肉のこわばりなどがあります。

だが、20代に子宮頸がんが多いのも事実であり、国は就学年齢を超えた人を対象に積極的な接種を推奨してきました。

そこで、以下のことを伺います。

- 1 わが町の健康被害の報告と状況はどうでしょうか。
- 2 対象となる年齢の保護者からの相談や対応はどうするのでしょうか。

7	議席番号 11 番	八木 栄 議員	開始予定時刻 12月9日 午後1時
<p><b>【子育て支援について】</b></p> <p>先日の行政報告会において、「吉田町人口ビジョン」及び「吉田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の報告がありました。</p> <p>この「吉田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に今後取り組み、『吉田町の人口減少の克服と地域の自立かつ持続的な活性化を目指す。』というものでした。</p> <p>この総合戦略は、5つの基本目標から成り立っており、今回この中の〈基本目標4〉における、子育てしやすい環境の整備について質問します。</p> <p>平成27年度、町内在住の園児の内、町立保育園に通っている児童は約500人、私立幼稚園に通っている園児は、約400人となっています。</p> <p>吉田町では、幼稚園教育の振興を図るため、保育料等を減免する設置者に対し、文部科学省による国の補助金を受けて、吉田町私立幼稚園就園奨励費補助事業を実施しています。</p> <p>この、就園奨励費補助金は、各市町においてその金額がまちまちです。そのなかで、当町においては、補助金額が他市町に比べ低いと思います。私立幼稚園に通う園児を持つ家庭においては、少しでも多くの補助を望んでいることは承知のことと思います。</p> <p>家庭の負担を少しでも減らすことが、子育てしやすい環境の整備に繋がることと考え、以下質問します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 補助金額の設定にあたり、その根拠は。</li> <li>2 現状の金額を上げる考えはないか。</li> <li>3 補助金額の見直しについては、どのようになっているのか。</li> <li>4 このような事でも、若年層の定住に関係すると考えないか。</li> </ol>			

8	議席番号 6 番	山内 均 議員	開始予定時刻 12月9日 午後2時
<p><b>【子どもを健やかに育てるためのシステムや、健康に育つ環境について】</b></p> <p>子どもを安心して健やかに育てるためのシステムや子どもが健康に育つ環境などについてお尋ねします。</p> <p>平成27年第1回吉田町議会定例会で、放課後児童クラブについて「これまで放課後児童クラブでは、小学校3年生までを受け入れ対象としてきましたが、平成27年度4月からは対象を6年生までに拡大し、さらに、中央第2児童クラブにおきましては、学齢児を対象とした一時預かりを実施いたします」、と方針を示されました。</p>			

放課後児童クラブの児童数の推移を見ますと、25年度より26年度では14人増えています。

27年度は対象が6年生までとなったことで、196人から227人に31人増えています。

女性の働くチャンスが増したのではないのでしょうか。

ただ、内容は単純ではないと聞きました。

システム及び整備について質問をします。

1 児童数の増加に伴って、間借り施設の利用が増加しています。

学校ごとや地域ごとに、放課後児童クラブの整備が必要であると考えますが、町の構想はいかがですか。

2 子どもの学習や遊びの場所、また指導員の働く環境の整備について、現状はどのように分析していますか。

3 2に対応すべき、場所の確保や働く環境整備について計画はありますか。

4 学齢児の一時預かりは、働く女性にとって真に必要なシステムであると思います。

また、母子、父子家庭への応援にもなります。

各地域に必要となると思いますが、将来構想はありますか。

#### 【公園や施設の維持管理、使用について】

吉田町には多くの公園や施設の広場、運動場があります。

特に、公園の用途には「多目的広場」が目立ちます。

また、維持管理には多くの方の労力が注がれています。

特に夏季の芝生の維持、管理は大変です。

使用方法も多くがグラウンドゴルフに利用されています。

それが良いとか悪いとかの議論ではなく、ルールを決めることにより、多様な使用方法や利用価値が増すのではないかと思います。

例えば、放課後児童クラブに通う子どもたちが、年配の方と一緒にグラウンドゴルフをやるとか、芝生の広場が子ども同士、親同士の交流の場になるとか、できるだけ多くの人が利用できる方法はないかと思い質問をします。

1 多目的広場の多目的とは、どのようなイメージなのですか。

2 維持管理及び運営は、どのようなルールで行っているのですか。

3 使用方法、使用者等の決め方にルールはあるのですか。

**【住吉・川尻海岸保安林松くい虫防除事業について】**

毎年、住吉・川尻地区海岸の保安林などに、松枯れ防止のため薬剤の地上散布が実施されている。

散布する薬剤は、農薬アセタミプリド20%液剤で、1,000倍希釈液使用となっている。

広報よしだには、「土壌や河川水中では微生物によって速やかに分解される」と掲載されているが、町民からは農薬散布に対する不安の声が聞かれる。

最近では、従来の農薬散布に変わり、松の木自体の免疫力を高め、松くい虫被害を防ぐ手法として、微生物を使った土壌改良に取り組んでいる自治体もある。

そこで、わが町の松くい虫防除対策について、以下質問する。

- 1 住吉・川尻地区海岸の保安林などへの薬剤地上散布の実施状況は。
- 2 「町の木」でもある町内の小中学校や神社などの松の木に、松くい虫の被害はあるか。
- 3 今後、微生物を使った土壌改良材により、土壌や松の木の免疫力を高めて松くい虫を防除する手法に切り替える考えがあるか。

**【女性の起業支援策について】**

わが国では、輝く女性を応援し、女性の活躍の場を広げていく考えのもと政策を始めている。

静岡県でも、女性起業家のセミナーが行われている。

わが町でも、技能や知識を生かして起業したいとの女性の声を多く聞く。

起業する夢を叶えることで、町に働く場の確保とそれによって地域経済活性化が期待できると考え、以下について質問する。

- 1 起業したい女性に対して、町にはどのような支援策があるか。